




令和元年度 現地検討会等実施状況

(技術の普及)

4

国有林	33
自治体	49
森林所有者	16
事業体	0
研究機関	9
その他	1
合計	108

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
現場見学研修会	10月24日	後志森林管理署 後志総合振興局森林室	蘭越町（道有林）	国有林	5名	市町村、森林組合担当者等の林況把握等に係る技術の向上のため。	署が「山の見方」の研修会（目測及びビッターリッヒ法による蓄積把握の演習、全天球カメラの活用方法及び林分の混み合い度指標の解説）を、森林室が試験地等（広葉樹二次林の複層伐施業地、トドマツ間伐率別試験地）の見学会をそれぞれ実施。 意見交換では「実際に林分を見ながら林業技術を学ぶ機会はこれまであまりなかった。今後も基礎的な内容の研修を行ってほしい。」などの意見が出された。 次年度以降も現場見学研修会を継続して開催する予定。	
				自治体	13名			
				森林所有者	名			
				事業体	名			
				研究機関	名			
				その他	1名			
				合計	19名			
北海道大学天塩研究林の見学	10月28日	留萌地域林政連絡会議主催（留萌北部森林管理署、留萌南部森林管理署、北海道留萌振興局）	幌延町（北海道大学天塩研究林）	国有林	21名	地域林業の発展に向けて、留萌地域の各自治体等の林務担当者の林業技術の向上を図るため	北海道大学から研究林の目的、事業概要等について説明を受けた後、①～④の4箇所の試験地を見学した。 ①36年生低密度植栽アカエゾマツ試験地 ②天然更新表土戻し試験地 ③天然更新エゾマツ刈り出し試験地、カンバ強度間伐試験地 ④アカエゾマツ高齢級造林地 多くの参加者が初めて見る施業方法を視察し、低コスト施業推進に向けた貴重な体験と情報を共有することができ、次回もまた実施してほしいとの声が寄せられた。	
				自治体	14名			
				森林所有者	名			
				事業体	名			
				研究機関	9名			
				その他	名			
				合計	44名			
無人航空機（ドローン）に関する講習会	11月7日	渡島森林管理署	渡島森林管理署会議室	国有林	4名	市町村での森林調査等におけるドローンの活用を図るため	市町村にもドローンの配備が進んでいるが、まだまだ初心者又はほとんど操作したことが無い方が多いので、ドローンの安全な飛行についての基本的なルールや操作方法について署の担当者から説明を行った。 また、オルソ化・3D化出来るパソコンとソフトが導入されたことから、それらの活用例を紹介した。 意見交換では、「今後ドローンを活用していきたい」等の前向きな意見があった。	
				自治体	8名			
				森林所有者	名			
				事業体	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	12名			

蓄積把握の演習

低密度植栽アカエゾマツ試験地

安全な飛行についての説明

令和元年度 現地検討会等実施状況

(技術の普及)

指導林家連絡協議会・林業グループ連絡協議会合同研修会	11月19日	日高振興局森林室平取事務所	《現地研修》 平取町（民有林） 《室内研修》 平取町「仁世宇園」	国有林	3名	地域の森林・林業に関する情報を交換することにより森林整備の推進と林業経営意欲の向上を図るため	民有林においてミズナラ・カツラの造林地と蜜源としてのイヌエンジュ等の植栽箇所を見学。その中では「ネズミ被害と対策」「国有林の広葉樹施業」などの意見・質問が出された。 室内研修では、国有林で進めている「天然力を活用した多様な森林づくり」について、考え方、取り組み方について説明後、今年度行った施業地についての紹介を行った。参加者からは、「大型機械による地拵幅」「クリーンラーチコンテナ苗の植栽」などについて質問・意見が出された。
				自治体	14名		
				森林所有者	16名		
				事業者	名		
				研究機関	名		
				その他	名		
				合計	33名		



広葉樹植栽箇所にて意見交換